

山田高選手の活躍光る



第62回県高校総合体育大会が5月20日から6月20日まで行われ、県立山田高校（加藤春男校長・生徒223人）の選手が各種競技で活躍しました。6月10日、上位入賞を果たしたボート、相撲、空手道部の部員ら12人が役場町長室を訪れ、今大会の入賞報告を行いました。

ボート競技は6月4日から花巻市の田瀬湖ボート場で行われ、男子シングルスカルに出場した大釋一揮君（2年）とダブルスカル（佐藤郷史（2年）・甲斐谷和成（3年）組、女子かじ付きクオドルプルがそれぞれ優勝。東北選手権大会とインターハイ出場を決めるとともに、男子は総合優勝を果たしました。また男子シングルスカルでは佐賀宏康君（3年）が3位に入賞しています。主将の後藤佳子さん（3年）は「インターハイでは1戦1戦悔いのないレースをして上位入賞したい」と話しました。相撲競技は6月5日、盛岡市の県営武道館相撲場で開催され、

荒川平君（3年）が個人戦で準優勝し東北選手権大会とインターハイ出場への切符を手に入れました。荒川君は「今まで悔しい思いをしてきましたが、次の大会に向けて頑張りたい」と決意を新たにしています。

空手道競技は6月5日から紫波町の紫波総合体育館で開かれ、団体組手で男女とも3位入賞。個人組手では阿部香寿美さん（2年）が3位、山崎結貴さん（3年）が5位に入賞しそれぞれ東北選手権大会に出場します。女子主将の山崎希さんは「県の代表として期待に応えたい」と話しました。

▽団体出場選手 ボート女子：柴田唯（1年）、齊藤女乃（2年）、後藤佳子、湊智美、伊東優香（いずれも3年） 空手道男子：高橋瞭太（1年）、泉澤雅也（2年）、尾形大地、斎藤健太、佐々木康之（いずれも3年） 空手道女子：伊藤綺華（1年）、阿部香寿美（2年）、黒澤都（同）、山崎希（3年）、山崎結貴（同）《敬称略》

町長室から

山田町の65歳以上の方は、6月1日現在で6059人であり、高齢化率は31・2%となりました。このうち100歳以上の方が15人いらっしゃいます。人口が減少する中で高齢化率はこれからも確実に上がっていきますから、積極的に外に出て皆さんができる範囲でのお手伝いをお願いしたいと思います▼子供たちの通学時間に合わせて声を掛け見守ること、隣近所を訪ね歩いてお茶飲み話に花を咲かせることもいいではないでしょうか。そのことが長寿の秘けつでもあるといわれます。過日開かれた老人大会で、こんなお話をしました▼県の大会で活躍した山田高校の生徒の皆さんが6月10日に町長室を訪問され、ボート、相撲、空手道の試合での活躍ぶりを報告しました。最近、中学生の活躍を伝える機会が多かったので、これに負けじと頑張った諸君にエールを送ります。全国大会でも活躍を。

山田町長 沼崎 喜一